

SPODフォーラム2014全体アンケート集計結果

当日参加者数

SPOD加盟校から:258名

SPOD加盟校以外から:178名

合計:436名

アンケート回答者数:226名(フォーラム終了後、web入力にて実施)

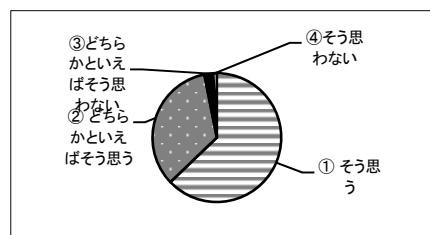
回答率:51.9%

1. SPODフォーラムでの研修成果について

【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	142	62.8%
② どちらかといえばそう思う	77	34.1%
③ どちらかといえばそう思わない	5	2.2%
④ そう思わない	2	0.9%
計	226	100.0%

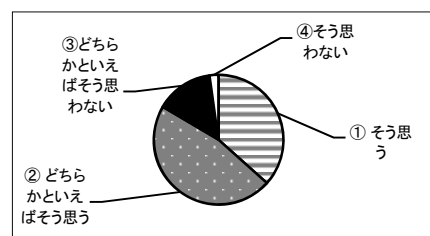
無回答 0



【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	82	36.6%
② どちらかといえばそう思う	105	46.9%
③ どちらかといえばそう思わない	32	14.3%
④ そう思わない	5	2.2%
計	224	100.0%

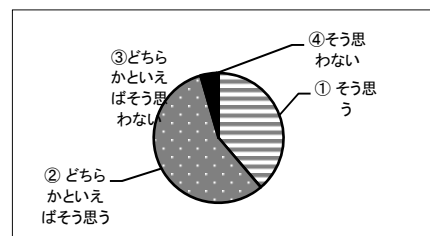
無回答 2



【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	86	38.7%
② どちらかといえばそう思う	126	56.8%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.1%
④ そう思わない	1	0.5%
計	222	100.0%

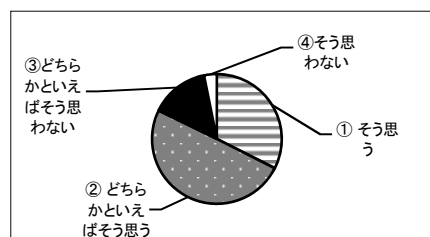
無回答 4



【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	73	32.4%
② どちらかといえばそう思う	112	49.8%
③ どちらかといえばそう思わない	33	14.7%
④ そう思わない	7	3.1%
計	225	100.0%

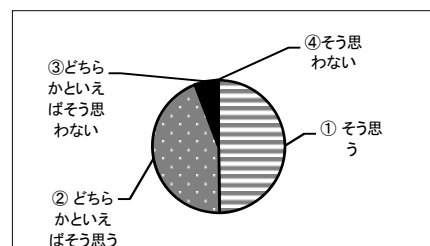
無回答 1



【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	111	49.8%
② どちらかといえばそう思う	99	44.4%
③ どちらかといえばそう思わない	12	5.4%
④ そう思わない	1	0.4%
計	223	100.0%

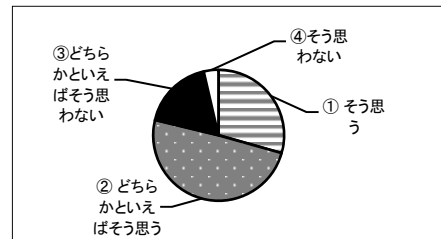
無回答 3



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	65	29.4%
② どちらかといえばそう思う	109	49.3%
③ どちらかといえばそう思わない	39	17.6%
④ そう思わない	8	3.6%
計	221	100.0%

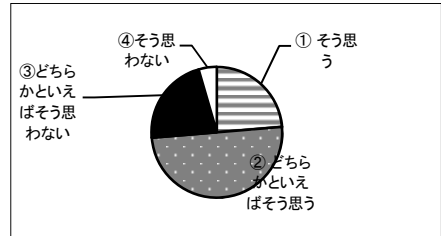
無回答 5



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	53	23.7%
② どちらかといえばそう思う	112	50.0%
③ どちらかといえばそう思わない	49	21.9%
④ そう思わない	10	4.5%
計	224	100.0%

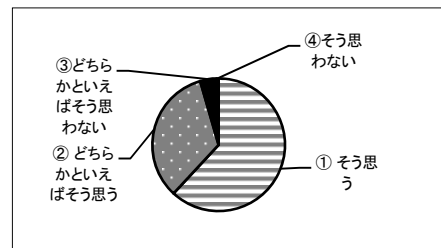
無回答 2



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	138	61.9%
② どちらかといえばそう思う	75	33.6%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.0%
④ そう思わない	1	0.4%
計	223	100.0%

無回答 3



2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 大学	197	87.2%
② 短期大学	21	9.3%
③ 高等専門学校	4	1.8%
④ その他	4	1.8%
計	226	100.0%

無回答 0

所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	90	40.0%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	33	14.7%
③ 学校法人	101	44.9%
④ その他	1	0.4%
計	225	100.0%

無回答 1

所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	133	58.8%
② 東北	6	2.7%
③ 関東	25	11.1%
④ 中部	7	3.1%
⑤ 近畿	21	9.3%
⑥ 中国	22	9.7%
⑦ 九州・沖縄	12	5.3%
⑧ 北海道	0	0.0%
計	226	100.0%

無回答 0

職種

	度数	割合
① 教員	85	37.9%
② 職員	138	61.6%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	1	0.4%
計	224	100.0%

その他の記述内容
・ 研究員(2)

無回答 2

あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	39	17.7%
② SDの実施担当者	13	5.9%
③ FDとSD両方の実施担当者	8	3.6%
④ FDやSDの実施担当者ではない	160	72.7%
計	220	100.0%

無回答 6

SPODフォーラム2014参加者からの要望等について

■開催時期／期間について

- ・開催時期は夏休み中が良い、参加し易い時期であるため
- ・4日日程でもいっくらい魅力的な内容ばかり。
- ・開催日程について、土日も含めて3日間とかであれば、より参加しやすいのかもしれませんが。自主参加したいと思った時に、平日であると前日参加したくても都合がつけられないこともあると思います。
- ・来年以降、就職活動スケジュールの後ろ倒し（採用選考8月解禁）に伴い、学生のキャリア支援に関するプログラムの実施や、関係教職員の参加が難しくなることを危惧しております。
- ・開催日程は、もっと長くとっていただいてもよいと思う。

対応

過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏季休業中の平日に開催する。なお、来年度は愛媛大学で8月26日（水）～28日（金）の3日間で開催する予定である。

■開催会場について

- ・会場周辺に宿泊施設がない場合、JRなどの公共交通機関の時刻とフォーラム開始時刻を考慮してほしい。
- ・四国外からの参加のため、出来れば主要駅から近い会場で開催していただければ幸いです。大変充実した内容なので、四国以外でも出張開催をしていただければと思います。
- ・都合により自動車で伺うこともあり、周辺の駐車場（有料で構いません）をいくつかお知らせいただければと思います。
- ・今回の高知大学（朝倉キャンパス）は市街地から離れていたことから、路面電車、バス等での移動にも時間がかかりました。遠方から参加させていただくには前泊を伴ったり、帰りに大学から市街地、そこから空港までの移動時間を要する等、少々負担を感じました。
- ・大学ごとにいろいろ工夫をしている教室で開催してはどうか。
- ・四国の各大学で持ち回っており、大学を見学する機会となっている。開催大学は、大変だと思いますが、よろしくおねがいします。
- ・高知大学は駅から近く交通の便はよかった。
- ・四国巡礼の趣を呈してきました。

対応

今年度高知大学で開催したことにより、高知県内加盟校の教職員に多数御参加いただいた。2年前の徳島開催でも新たな参加者の獲得に繋がっており、SPOD加盟校にフォーラムを有効活用していただくためにも、四国内持ち回り開催について引き続き検討していく。また、参加者には公共交通機関の利用をお願いしていることから、フォーラムの開始時刻等についてはできる限り配慮する。

■広報活動について

- ・全体では開催校の教員の、リーダーセミナーでは学部・学科長・教務主任クラスの先生方の参加がとて少なかったように感じました。カリキュラム編成等で大学教育の中心を担う先生方には大学としてもっと参加を呼びかけるべきだと思います。
- ・関東・関西地方の大規模大学からの参加の多くが職員にとどまっているのが残念です。教員にもっと宣伝してほしいです。
- ・もっと多くの教職員に参加してもらいたいですね。
- ・今後もより多くの大学が参加されるよう、広報に力を入れて頂きたい。

対応

フォーラムの広報については、チラシを作成し全国の高等教育機関に配布しているほか、SPODメールマガジンやホームページで案内している。また、あさがおMLや他機関ホームページでの開催案内掲載等、多くの教員が活用しているメディアでも積極的に行っているが、毎年職員の参加者数が上回っている状態である。加盟校外への案内周知については限界があるが、各加盟校においては、教員だけでなく管理職クラスの方々にも参加いただけるよう案内方法等の検討をお願いするとともに、運営側としても、多くの方が参加したくなるような魅力的なプログラムを提供する。

■参加者間の交流について

- ・常連の先生方どうしで和気あいあいと話されている光景をよく見かけましたので、非常に良い場であると感じておりました。私も馴染めるようこれからも参加させて頂きたく思っております。
- ・2日間（28日・29日）の参加で3つの講座に参加しました。全て、WS形式でグループ編成がありました。WS形式には慣れていたつもりでしたが今回とてもストレスフルになりました。28日に2つのワークショップを終えたところで、とても3つ目のWSに参加する気になれず、3つ目をキャンセルしました。
- ・事前に自己紹介用紙を記入してもらって、セミナー当日にみんなに配付できるようにしておくこととなりがわかって、親しみが出るように思う。

- ・始まる時間が遅く、終わる時間が遅いため、他の教職員と意見交換する時間が少なく感じた。プログラムを朝方にシフトすることは難しいのでしょうか。涼しい時間に実施されることで冷房費も抑えられるかもしれません。
- ・3日間の会期のうちオフィシャルな懇親会は1回しかできないとしても、それ以外の日の夜に、この指とまれ形式の飲み会情報が会場の一角に掲示され、行きたい人が自由に集まれるような仕掛けがあるとありがたい。例えば「若手職員同士飲みながら語りませんか？@ひろめ市場」など。いわば分科会みたいな飲み会です。
- ・懇親会は、高専チームなど職域の近い者をグループ分けしてテーブル設定して欲しい。名前も分からず懇親にならなかった。

対応

- ・SPODフォーラムは、年々大学教職員の間で定着していると感じる。フォーラムの特徴であるワークショップ型研修の提供が、自然に参加者間の交流を促進しており、フォーラムへの参加を同窓会に出席するような気持ちで参加されている方もいらっしゃる。一方で、SPODとしては、これまでどおり特徴である参加型の研修を提供していくが、それだけにとらわれず新しいスタイルの研修についても検討していく。
- ・例年、参加者相互の交流を図ることを目的として、リフレッシュルームの設置や懇親会の開催のほか、ラウンドテーブル、ランチョンセミナーや連続受講プログラムを設ける等、色々工夫しているところである。現在、来年度のフォーラムについて検討中であるが、ポスターセッション等、参加者が自然に交流を図ることができる仕掛けについてアイデアを出し合って検討している。
- ・懇親会についても、参加者が交流しやすくなるような仕掛けを検討する。

■プログラム構成について

- ・世代別の企画があっても面白いと思います。
- ・合宿形式も良いと思う。
- ・同一内容を日をずらして重複して行うなど、人数超過で受講できないといったことがないようにして欲しい。
- ・定員の関係上、受講したいプログラムに参加することができなかった点。
- ・受講したい科目の時間帯が重なり、受けた科目が受けられなかった。内容・テーマごとに(あるいはFD、SDごとに)教室が分かれば、重なりが減るのではないか(面倒な注文かもしれませんが)。
- ・学会形式で、ポスター、オーラル、シンポジウム形式で事例報告など各大学の事例を発表でき、それらについてディスカッションできる機会があると、自分たちのやり方にアドバイスをもらったり、参考にしたりできると思います。
- ・国立大学は専門スタッフも潤沢であるが、私学は少ないスタッフをやり繰りしながら、何とか業務を改善しようとしているので、そうした私学にも役立つ講座も考えて欲しい。

- ・SDや、FDSDどちらにも対応したプログラムが増え、FDに関するプログラムが減ったような気がします。まだまだFDプログラムを充実させて欲しいと思いました。
- ・開講科目から興味のあるテーマを選択して受講できる点がよい。申込みが遅くなり、受けたい思った内容の一部は既に満員であった。
- ・内容を詰め込みすぎていると思われるプログラムが散見された。
- ・もう少し1回のプログラムの時間を長くしたほうがよいのではないか。時間に追われてしまって、きちんと完結しないプログラムがあった。
- ・3年連続で参加させていただいたが、少し新鮮さを感じなくなった。

対応

- ・フォーラムは毎回全体的に好評であるが、例年プログラム構成について賛否様々なご意見をいただいている。マンネリ化というご意見もあるが、人気の高いプログラムについては受講できなかつた方のため2年以上開講することとしており、リピーターの確保に繋げている。また、FD/S Dのプログラム数については、一方に偏ることが無いようバランスを考慮して配置しているほか、教職協働が問われる状況の中、教員職員が共に考える場としてFD/S D共通プログラムも積極的に提供している。今後も引き続き、新規の方にもリピーターの方にも満足いただける、時代のニーズに合わせた魅力的なプログラムを提供していく。
- ・研修時間については、次回はもう少し柔軟な時間設定となるよう検討中である。

■プログラムの進行・運営について

- ・講演者の対象とする受講者像と、受講者がシラバスから予想する講演内容のギャップがあった。またそれは自分のみならずまわりの数人でも同意見であった。
- ・FD/S Dと書かれたものでも、内容は明らかにS Dのものであるものがあり、期待した内容とはまったく異なるものがあった。対象が誰なのか明確にする必要がある。
- ・予期した内容(プログラム内容の説明も読んでいた)と異なっていると感じる内容のものがいくつかあった。
- ・シラバス等に設定してある到達目標と、実際に内容に若干ずれがあったので改善してほしい。
- ・教職員が混在するプログラムにおいてグループワークをする場合、できれば教職員が混在 or 教員/職員でのグループ割りがいいと思います。私が参加した教職員混在のプログラムは自由席だったのですが、運悪く私以外全員が教員でして、ワークの際に共有できる事が少なかったです。
- ・ある程度の前知識が必要なものについては、受講者のレベルをそろえるため、簡単なアンケートを事前に課してはどうか。
- ・S P O Dの会場に際し、県外から来た他大学の方々のために簡単な観光スポットなどの冊子を入れていただきたいと思います。

対応

・今年度は、申込み時にシラバスを確認いただけるようチラシやホームページ上で工夫したところ、例年指摘をうけてきた「事前にプログラム内容を把握したい」等のコメントはなく、シラバスを確認された上で申込みいただけるよう改善されたことが分かった。しかし、上記コメントのようにシラバスと研修内容にギャップがあったとの指摘をいくつかいただくこととなった。次回フォーラムでは、講師の方々には、受講者に分かりやすいシラバス作成及びそのシラバスに沿った研修の実施をお願いするとともに、運営側としても講師の選考を早めに行い、内容を十分検討いただいた上でシラバス作成に望んでいただけるようスケジュールを調整する。

・講師から希望のあったプログラムについては、予め職種や所属を考慮の上、グループ分けを行っているが、指定がない場合は自由席となっている。会場受付で、同じ所属の方や職員同士が別グループとなるよう呼びかけるほか、講習冒頭に講師からも、受講者がより多くの方と交流いただけるグループメンバーとなるよう促していただく。

・シラバスの中で受講対象者を記載いただくことにより、ある程度のレベル設定を行っている。あとは、参加者の自己判断となるところであるが、講師には受講レベルをイメージしやすいよう受講対象者をより具体的に記載いただくこととする。また、研修によっては参加者に予習として事前課題を提示し、共通知識をもって研修に望んでいただくための工夫をする。

■シンポジウムについて

・今回の最終日の「シンポジウム」は、シンポジウムというよりワークショップだった。そのことを、事前にアナウンスしておくべきだったと思います。

・日程はこのあたりでいいですが、シンポジウムを最終日の午後にもってくると、遠隔地の者は出られなくなります。

対応

・シンポジウムについては、ワークショップ形式での実施やツイッターの導入など、参加者の皆様に満足いただけるものとなるよう毎年改善の努力を行っている。引き続き、内容・進行等を見直しつつ、教職員が一体となって考えることができるシンポジウムとなるよう工夫する。

・シラバスには参加型シンポジウムと明記していたが、講師の方々には受講者により分かりやすいシラバスとなるよう記入時に注意していただく。

・シンポジウムの日程については、開催校の状況を含め、フォーラム全体の流れを考慮しつつ決定させていただく。

■運営上の要望について

- ・名札について、スタッフも名前を入れるべき。
- ・研修スタッフに対する説明が不十分なのか、講師から指示されたこと（機器の不具合、体調不良者の対応等）の対応に戸惑っている場面が見られました。
- ・研修を受けつづけているとちょっと疲れる感じもするので、次回は一コマ休みを入れる等工夫して参加したいと思います。そのためには、参加者がくつろいで休憩出来る場所も必要かと思えます。
- ・開催日程をもう少し早くに決定できないでしょうか。

対応

- ・開催日程については、年内にはメールマガジンやホームページでご案内している。手続き上、詳細なプログラムについては毎年6月頃のご案内となっているが、できる限り早く案内できるよう調整する。
- ・運営スタッフのほとんどは、事前に1度の説明を受けただけでご協力いただいている他大学や他部署の職員であるため、対応に手間取ってしまうことはある程度仕方がないと考えている。その場合でも、より経験豊富なスタッフを巡回させるなどの対策はとっているが、ご協力いただくスタッフが当日よりスムーズに動けるよう、事前の説明会の内容を改善する等さらに工夫する。
- ・受講者の休憩場所については毎回準備しているが、会場の関係上、全ての参加者に便利な場所での提供は難しい。また、休憩時間も短いため、実質的に十分に活用いただける状況ではない。今後は、プログラム配置や休憩時間等を検討し、参加者が交流を図りながら一息つける場所作りについても検討する。